

見沼田圃基本計画の改定について

資料 4

改定の背景

- 国の「グリーンインフラ推進戦略2030」の策定や「さいたま市緑の基本計画」の改定など、首都圏有数の大規模緑地空間である見沼田圃を取り巻く政策環境が変化している。
- 現行アクションプランが令和8年度に計画期間満了を迎えることから、今後の計画体系の在り方を検討する必要がある。

改定に向けた基本的な考え方

- 国・県・市の関連計画やグリーンインフラ含む近年の政策動向の反映
- アクションプランの統合を含む、見沼田圃施策の推進体制・計画体系の在り方の整理

改定スケジュール案（予定）

R 8年度

関連計画の把握及び整理、現計画の評価、市民・関係団体への意識調査により課題を整理し、見沼田圃政策の在り方・方向性を検証

- ・ 審議会への報告・意見聴取（8月、3月）
- ・ 庁内検討会議への報告・意見聴取（3月）
- ・ 市民（3,000人）アンケート（9月～）
- ・ 関連団体ヒアリング（9月～）

R 9年度

骨子案の作成、庁内関係機関、議会・審議会等で出た意見を踏まえた骨子作成

- ・ 市議会への報告（6月）
- ・ 見沼田圃で活動する団体で構成する協議会からの意見聴取（8月）
- ・ 審議会での審議（年度2回想定）
- ・ 庁内検討会議での審議（年度2回想定）

R 10年度

骨子をベースに、庁内関係機関、審議会等で出た意見を踏まえた素案作成・パブリックコメント

- ・ 見沼田圃で活動する団体で構成する協議会からの意見聴取（8月）
- ・ 庁内検討会議での審議（8月）
- ・ 審議会での審議（9月）
- ・ 市議会への素案報告（12月）
- ・ パブリックコメント（1月～）

R 11年度

改定



見沼田圃基本計画の改定について

市民アンケート内容（予定）について

- 改定の方向性検討に当たり、市民から保全や活用に関する意向、要望等を把握することを目的として、以下の内容で実施する。
- 個別のアンケート項目については、別添資料を参照。

区分	設問例	設問の趣旨
回答者の属性	年齢、在住区、市内在住歴、子どもの有無	クロス集計・分析で使用
見沼田圃の認知・利用状況	見沼たんぼ訪問頻度・目的、魅力、訪問しない理由、訪問促進要因	見沼田圃の利用状況、イメージの把握
市の現行の取り組みについて	見沼田圃基本計画、見沼たんぼにおける実施事業の認知度	現行の事業・取り組みの認知状況、今後の広報等の展開の把握
見沼田圃の役割・将来像について	見沼たんぼが担うべき役割	新たな計画全体や分野別の取り組みの方向性の意向
取り組みの方向性について	見沼たんぼを利活用のため市が実施すべきもの、力を入れるべき分野	
	見沼たんぼが持つグリーンインフラ機能について、期待する効果	グリーンインフラの認知状況、期待する効果
	見沼たんぼの快適化のために必要なハード整備	ハード面でのニーズ把握
市民参加に関する意識・意欲	協働・魅力向上取組で参加してみたいもの、情報の収集先	市民参加・協働に関する意識・意欲の把握
自由意見		設問、選択肢から得られない総合的、分野横断的な意見を把握

対象：市内在住の18歳以上3,000人（無作為抽出） 回答方法：W E B 又は返信用封筒

ヒアリング団体の想定について

- 農業者（複数）、環境・自然保護団体、観光の専門家・イベント企画者、ボランティア従事者、民間企業、高校生等を想定